

<h1>議 事 録</h1>	作 成 日	2021 年 10 月 7 日
	作 成 者	柴田 愛子

会議名	第 3 回多世代共生型施設運営委員会
日 時	2021 年 10 月 1 日 (金) 11:00~12:30
場 所	桑名市総合福祉会館 1 階 大会議室
出席者	委 員：長谷中委員長 川瀬副委員長 細井委員 加藤昇委員 加藤隆明委員 藤永委員 寺崎委員 佐藤委員 田上委員 嶋田委員 蛭川委員 橋本委員 水谷委員 栗田委員 伊藤委員 北口委員 中前委員 計 17 名
	事務局：山中会長 山下常務 竹内局長 中川センター長 稲見園長 安藤所長 伊藤苑長 水谷課長 森山センター長 土屋センター長補佐 一戸係長 内山係長 宮田主任 千種 柴田
欠席者	委 員：安部委員 河野委員 日比野委員

議事概要	
<p>1. 挨拶</p> <p>○山中会長</p> <p>今回の多世代共生型施設のような大きな施設が桑名市にでき、またその建設に社協が携われることを、大変幸せに思っている。工事も着々と進み、オープンに向けて残り数カ月となり、入所・利用されるたくさんの方々心が待ちにしていると思う。素晴らしい景観になると思うので、その景観にふさわしい外壁色等を皆で協議し、行ってみて素晴らしいと思える施設に仕上げていけたらと思う。</p> <p>○事務局</p> <p>今回の運営委員会では、ざっくばらんに議論できるようにしていきたいと思う。本日、安部委員、河野委員、日比野委員が欠席されているが、安部委員、河野委員からは、出席者の皆さんに一任する、日比野委員からは「らいむの丘」がよい、敷地内に「らいむの木」を植えて欲しい、との意見を頂いている。</p> <p>また本日は療育センターの保護者会から新しい方々にお越し頂いている。この多世代共生型施設の建設の話があがった当初からの方針「みんなで考え・みんなで作り・みんなで運営する」は変わっていないため、大事なことを最終的に決める場としての運営委員会を改めて意識して頂きたいし、大事にしていきたい。会議の中身の司会・進行は、長谷中委員長にお願いしたい。</p>	
<p>2. 事項</p> <p>○長谷中委員長</p> <p>急遽会議の開催が決まった中、ご参加頂き大変感謝している。前回（9月24日）は、これまでの経過と施設総称・外壁色について情報共有させて頂いた。今回の運営委員会の狙いは、施設総称・外壁色の案を決めるところであり、社協の皆さん・運営委員の皆さんと協議</p>	

議事概要

して決めていきたい。今回決めた案を持って、市と協議して最終決定するのが、今後の流れとなっている。何よりもまず皆さんの意見を大切したく、皆さんと話し合いながら一緒に決めていけたらと思う。

まず、2つ確認しておきたい。

1つ目は、案の決め方についてだが、委員の皆さんより意見はあるか教えて頂き、それを踏まえて決定していきたい。

2つ目は、今後市と協議していく上で、現時点で施設総称と外壁色に関して市がどんな考えを持っているのか、事務局よりご説明いただきたい。

○事務局

伊藤市長の公約の一つに、福祉ヴィレッジがある。しかし、施設総称と外壁色の決定が長引いており、皆様には大変ご迷惑をおかけしていることをお詫びしたい。市の動きについて、時系列も含めて、丁寧にご説明させて頂きたい。

外壁色については、8月下旬に、市負担施設「地域交流スペース」をグレーのグラデーションで決定した。そのため、同居する施設全体も、同色のグレーを希望している。

名称については、9月上旬に、公園部分を含む全体の名称を「桑名福祉ヴィレッジ」と発表したい、とお聞きしている。ちなみに、その公園部分の名称を「ヴィレッジ公園（やまざきパーク）」としたい、とのこと。尚、「やまざき」の由来は、現在社協施設を置いている江場111-1の土地を、株式会社山崎鉄工所より福祉に役立てて欲しいとのことでご寄付頂いた。そこに由来して「母子生活支援 山崎苑」といった名称もつけるなどあったため、その意思を引き継ぎたいとのこと、「やまざきパーク」としたいとのこと。

しかし、施設名称・外壁色については、さらなる思い・ご提案を頂きたい、という思いであり、上記の市が考えている名称・外壁色で決定ということではない。

○長谷中委員長

以上、市からの思いをお聞きしたが、まだ未来は決まっていない。運営委員会の中で、推奨案を提示して、市と協議して最終決定していく。運営委員の皆さんより忌憚のないご意見を賜りたい。それでは施設名称・外壁色について、審議していきたい。

尚、今回配布した資料「施設総称+外壁色（案）」は、利用者の皆さん、当事者の皆さん、社協の職員の皆さん、関係機関の皆さん、地域の皆さん、それぞれの思いを丁寧に聞き取りとりまとめてきた、皆さんの思いが詰まっている資料である。施設総称は、45案とりまとめてあるとのこと。外壁色も9案とりまとめてある。この案も参考にご審議頂き、案を絞っていく形で進めていきたい。

まず、今回の案の決め方について、委員の皆さまよりご意見があるか。

○川瀬副委員長

前回の会議は、かなりかしこまった形になり、意見を出しにくかったように思う。前回の

議事概要

話では作業部会で持ち帰って決めるという話もあったが、運営委員会で決めるのが本筋ではないかと思う。運営委員会の皆さんとしっかり話し合っていきたい。

こういった施設を作っていく過程に関わられて、大変光栄に思っている。地域福祉において、誰一人取り残さない、皆で包み込んでいけるようにしたい。そのため、是非皆さんで決めていきたい。ただ、私としては「福祉ヴィレッジ」という言葉は是非残していただき、それに合わせて皆さんから出てきた案（例えば「らいむの丘」）を組み合わせる形を希望したい。

また、この福祉ヴィレッジがうまくいった暁には、福祉ヴィレッジ長島版、福祉ヴィレッジ多度版ができることを願っている。それぞれの地域において、必要だと思うし、地域の方々も願っていると思う。

○長谷中委員長

当事者の思いを大事にしていくことがコンセプトの一つのため、川瀬委員の思いは本当に素晴らしいと思う。その他ご意見あれば。

○委員

30～40年前と比べたら、今は障がい者等に対する理解が出てきたとは思いますが、未だに障がいのある子どもを外に連れていくと、奇異の目で見られる感覚がある。

皆さんと一緒に、新しい施設を和気あいあいとできる場所に作り上げていきたいが、世間では未だに障がい者のことを可哀想と思う方がおり、そうした方の心には「福祉＝可哀想」とイメージされ、これが「福祉という言葉の壁」のように感じる。

よって、「福祉」や「福祉ヴィレッジ」を名称につけるには、こうした「福祉という言葉の壁」がなくなれば良いが、未だ「福祉」と名がつくと、自分自身は福祉と関係ない、よってその名称の施設とも関係ない、と思われかねないため、私は「福祉」を名称につけない方が良いと思う。代わりに「多世代共生型施設」を名称の一部につけるのはよいと思う。

○委員

みんなで決めていくことが一番大事だと思う。自分の子どもも障がいがあり、学校に通わせていた時は苦労した。

「福祉」という名称が付かない方が、どんな人でも行きやすい場所になるのではないかと思う。明るく優しい場所でみんなが自然に集まれる場所になれば、そういった社会になっていくのではないかと思う。それによって、障がいや年をとること、赤ちゃんが生まれるといったことが自然で身近なことに思えて、自分に起きた際にも、福祉ヴィレッジのような場所でそういった方々生き生きしている様子から自信をもらって乗り越えていけて、桑名がそういった発信地になっていくことを期待している。

みんなで考えて決めて一つずつ作り上げていく、これからの運営も一緒に決めていく、仲間のような存在になれたらと思う。利用者・職員・地域の方々とみんなで相談して、心配のいらぬ社会を作っていく第一歩になっていくと思うので、是非みんなで考えていきたい。

議事概要

○長谷中委員長

皆さんの思いを受け取った。この施設の始まりが、障がい児の親の皆さんを始め、利用者の方々が生んで良かったと、皆の未来が明るくなるような拠点にしていこう、というところであった。今の委員から出てきた意見も大切にしていきたい。

○委員

伝馬公園での福祉ヴィレッジの話が頓挫している時に、伊藤市長より星見ヶ丘の空き地を活用したいとのご提案を頂いた。地元においても、皆で集まれる場所がないことから、その場所も兼ねるとのことで、福祉ヴィレッジを進めていく運びとなった。工事も安全に気を付けて進めて頂いているため、工事に対する苦情もなく、感謝を申したい。

皆さんにどういう施設があるのが知って頂くために総称は「桑名福祉ヴィレッジ」とし、その後ろに各施設の個別名をつける形がいいと思う。

外壁色はなるべく明るい色でお願いしたいが、これから色々意見が出てくるかと思う。

福祉は、年齢問わず、障がい者・健常者問わず様々なことができる場だと思うため、この施設がそういった場所になっていって欲しい。

○委員

私は障がい者本人であり、昔は福祉に力を入れていなかったこともあり、学生時代も嫌な思いをたくさんしてきたが、応援して下さる方がいたおかげで、今を生きることができている。名前に「福祉」がついていると、そのイメージがついてしまいがちであると思うが、なぜそれほど気にしなければならないのかという思いもある。総称は「桑名福祉ヴィレッジ」、通称は「らいむの丘」と付ければ、何も抵抗はなくなるのではないかと思う。

色んな意見がたくさん出てくることは非常に喜ばしく大いに議論して頂いて、皆が納得できるような結果になればいいと思う。

○長谷中委員長

「福祉」のイメージに対して、人それぞれ捉え方が色々あると思う。また、話にあがってきたように「福祉の壁」があるのも事実だと思う。全ての人がここに来たくなるようなメッセージを込めた総称を付けたいという気持ちは、皆一致していると思う。

○委員

桑名市として「桑名福祉ヴィレッジ」という名前を残したいという思いがあるのか、再確認させて頂きたい。また、行政側が名称の変更を認めるというのは、どの辺りまでを意味しているのか、再度教えて頂きたい。

○事務局

名称変更について、何度も市に確認をとっているが、覆すことが可能かどうか市は明確

議事概要

に示してくれていないのが現状である。ただ私としては、総称や外壁色について運営委員会の中で出てきた意見を市の方に持ち掛け、議論に挙げて頂くように動くつもりでいる。

○委員

「福祉ヴィレッジ」とすることも1つだが、「福祉」より「多世代が共生できる施設」をウリに「多世代共生ヴィレッジ」に変えてもよいのではと思う。そのため、「桑名市多世代共生ヴィレッジ らいむの丘」とするのも1案かと思う。

○長谷中委員長

大変建設的な意見だと思う。

○委員

「福祉」とは、特別な言葉でなく「社会的共通資源」と捉えるもの。「社会的共通資源」のため、全ての国民のために有効に活用されるものである。今回の議論は、「福祉」という言葉の問題で少し迷路に入っている感じがする。「多世代共生ヴィレッジ らいむの丘」という名称案があったが、「福祉」という言葉は入っていないが、「福祉」は当然万民の共通資源のため、迷路に入らず、新たな提案をこの場からしていけばどうか。皆さんの発言一つ一つの中には、福祉に対する思いが入っており、その思いを運営委員会で共有したものを正直に市長に届けてはどうか。それでも名称変更が叶わなければ、福祉に対する思いを運営委員一人一人の胸の中で強めていけばいいと思う。

○長谷中委員長

「福祉」に対するイメージは千差万別あると思う。この一つの空間があらゆる人が来れる場所になれる、というのが当初からのコンセプトである。狭い意味での「福祉」に限定せず、垣根を超えてあらゆる人と地域を繋いでいく形をつくっていききたい。

「福祉」という言葉を入れることに対するメリット・デメリットはあると思う。デメリットとしては、「福祉」は自分には関係ないという無関心層等に来てもらいにくくなり、来客層が限定され、結果として差別や分断に繋がる可能性がある。

○川瀬副委員長

今回のこの場のように、フランクな場であって欲しいなと思う。「多世代共生」という名称案が出てきたが、その「みんなで」という考えが出てきたことに、大変安心した。

○事務局

自分自身は、小さな子どもに関わる仕事に長年携わってきた。その経験の中で、施設名に「福祉」が付いていると行きたくない、という保護者の声を少なからず聞いてきた。保護者たちが「福祉の壁」を持っているのだが、それはまだ今の「福祉」が保護者にとって生き辛さ・子育てのし辛さを感じているのだと思う。そのため、あえて「福祉」とつけない方が良

議事概要

いと考えているが、本質は、名称にこだわるよりも、桑名の子が幸せに育つことができる場になることが大事だと思っている。小さい子どもを育てていくのに、勇気を持ってもらえる場にできたらと思っている。

○委員

療育センター保護者の会「竹の子の会」の役員を務めている。外壁色や総称を決める会に呼ばれたことに、驚きと共に大変嬉しく感じている。「福祉」をつけるかどうかの話について、個人的には「福祉」と付けると障がいのある子が行くところと思われるのでは恐れていたが、今回の運営委員会での議論を聞いて、「多世代共生施設」という名称にして、その後さらに名称を付ける案がいいと思った。

○長谷中委員長

とりまとめながら、さらに議論を進めていきたい。別の角度からの意見等はないか。また、何か思いのある方の意見も出して頂けたらと思う。

○委員

意見は千差万別あるため、全ての人の意見を聞いていると、なかなか決めがたいと思う。イメージの中で共有できる部分があったため、とりまとめの中で提案頂ければと思う。色についても、細かな意見が出るとキリがないため、共有できる範囲の色に絞って決めてもらえばいいと思う。

○長谷中委員長

では、施設総称案についてはこの会で決めて、残りの部分については市と社協で決めて頂く形でもよいか。

今いくつか案が出てきたが、45案の中の「らいむの丘」が有力な様子だった。また、加藤委員より「桑名市多世代共生ヴィレッジ らいむの丘」という意見も出てきた。

他に45案の中で推奨するものはないか。また、事務局からの補足する意見はないか。

(他の意見・事務局からの補足もなし)

○長谷中委員長

今まで出てきた意見を整理すると、下記の3つとなる。

- ①福祉ヴィレッジ
- ②らいむの丘
- ③多世代共生ヴィレッジ らいむの丘

また、今回の議論の中で「福祉」の文言を入れると、利用しやすい・しにくい人が出てくる、という意見が出てきた。コンセプトとして誰もが利用でき、あらゆる人と繋がれる場を

議事概要

つくれるような名称にする必要があると改めて感じた。

では、名称決定を諮っていきたい。尚、上記の3案以外の案・意見がある方はいるか。

○委員

どこにある施設か分からないといけないので、いずれの案にも頭に「桑名市」をつけてはどうか。例えば、「桑名市多世代共生ヴィレッジ らいむの丘」とするとか。

○長谷中委員長

皆さま、いかがか。→ 桑名市でなく、桑名とすることで一致。

では、ここまで出てきた3案をもとに、どのように決めていくか2通り考えられる。

1. 3つの案を運営委員会のとりまとめとして市に提出する
 2. 3つの案に優先順位をつける
- どのように決めていくか。

○委員

「多世代共生型ヴィレッジ」との発言も中に交じっていたが、「型」は入れるのかどうか。

「型」が入ることで固いイメージが出てしまうため、ない方が良いと思う。そのため、「多世代共生ヴィレッジ」でどうか。

○長谷中委員長

「型」はなしでよいか。→ 良い。それでは、再度案を整理すると以下のとおりである。

- ①桑名多世代共生ヴィレッジ らいむの丘
- ②桑名らいむの丘
- ③桑名福祉ヴィレッジ らいむの丘

この3つの案をそのまま出すか、挙手や無記名投票等により優先順位を決めるか。

(挙手でよい、という意見多数)

○長谷中委員長

それでは、挙手で決定させて頂きたい。

- | | |
|---------------------|-------|
| ①桑名多世代共生ヴィレッジ らいむの丘 | ⇒ 14名 |
| ②桑名らいむの丘 | ⇒ 0名 |
| ③桑名福祉ヴィレッジ らいむの丘 | ⇒ 3名 |

以上より、以下のとおり優先順位をつけて市に提案する。

- 第1位：桑名多世代共生ヴィレッジ らいむの丘
第2位：桑名福祉ヴィレッジ らいむの丘

議事概要

○委員

議事録に本日の会議で出た一人一人の思いをしっかりと残して、その上で市との協議にあたってほしい。数だけでは思いが伝わらないため、是非一人一人の思いを記録に残して頂きたい。

○長谷中委員長

事務局側で、票の数だけでなく、今日出てきた意見をしっかりととりまとめて頂き、市と協議をお願いしたい。

補足説明として、「らいむの丘」には、色んな人の思いを大切にし、一人一人の自己実現をしていき、色んな人が繋がってほしい、といった色んな意味が込められている。

これからは市との協議となってくるが、委員や保護者等あらゆる方々の思いを是非伝えて、最終検討頂きたい。

他に何か伝えておきたいことはないか。

○川瀬副委員長

今日の会議では、皆さんがたくさん議論してくれてとても嬉しかった。これからも今回のように、もっともっと親しくなっていけたらと思う。

○委員

外壁色について、名称ふまえ今後皆さんの中で決まってくる色は優しく暖かみのある色なんだろうなと想像できる。例えば、グレーだったとしても、濃さ等様々あるため、その濃淡の中でも是非暖かみのある、皆が来たくなる色に決めて欲しい。

○委員

皆さんの福祉に対する思いを聞かせて頂き、大変感謝している。子どもたち、高齢者の方が自分らしく自然に暮らしていけるような場所になれるように、これからも皆さんと協議していけたらと思う。

○委員

委員ら皆さんの話が心にとっても深く染み入ってきた。どんな運営を今後されていくのか、差別もなく、地域が一緒になっていけるような運営を目指していけたらと思う。民生委員を長く務めているが、もし自分がその立場だったら、という視点を大事にしている。今日の会議の中でそれがより痛感できた。

○委員

工事現場の壁面に、近隣の小学校の子どもたちの絵を飾ってもらってある。地元の中では、具体的にどのような建物ができるのか分からないとおっしゃる方もみえるため、実際に

議事概要

出来上がる完成図を示して頂きたい。

○事務局

名称の話題に付随して、施設別の名称（例：養護老人ホーム、保育所等）に関しては、作業部会で協議して決定した名称を運営委員会に報告する形でよろしいか。

○長谷中委員長

（運営委員に対して）皆様よろしいか。→ 異論なし。

では、施設全体の総称決定後、施設別の名称を検討するという流れとする。

本日出た皆様の意見を今一度大切に受け止めて、今後運営委員会の皆様、地域の皆様、当事者の皆様と共に目的を実現していけるような議論を進めていけたらと思う。

最後に1点、「らいむの丘」の「らいむ」の花言葉には、「刺激・あなたを見守る」という意味がある。この施設が色んな人とのつながりを作っていく拠点にしていくのに、皆様のお力添えが是非必要になると思う。色んな人が参画して作っていけるようにするにはどうしたらよいか、またアイデアを出して頂けたらと思う。

○事務局

外壁色については、本日まとまった名称案（らいむの丘）にふさわしい色を事務局と大和リースで相談し、市へ提案していくことでよろしいか。→ 異論なし。

ありがとうございます。以上で本日の会議を終了します。

以上